

○北九州 PCB 処理事業所 (平成 29 年 3 月 21 日現在)

要素	調査項目	結果(*1)	環境基準等 (参考)	頻度 (モニタリング計画) *4			
大気	PCB	最大値 0.00017 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 最小値 0.000079 "	0.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下 現況*2 : 0.000283 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 予測値*2 : 0.0012 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	年 4 回			
		ダイオキシン類	最大値 0.57pg-TEQ/ m^3 最小値 0.018 "		0.6pg-TEQ/ m^3 以下 現況*2 : 0.056 pg-TEQ/ m^3 予測値*2 : 0.57pg-TEQ/ m^3	年 4 回	
			ベンゼン		最大値 0.0088mg/ m^3 最小値 0.0011 "		0.012mg/ m^3 以下*3 現況*2 : 0.004 mg/ m^3 予測値*2 : 0.004 mg/ m^3
	水質			PCB	不検出(<0.0005mg/l)		検出されないこと (<0.0005mg/l)
		(海水)			ダイオキシン類	最大値 0.067pg-TEQ/l 最小値 0.060 "	1pg-TEQ/l 以下
	地下水	PCB	不検出(<0.0005mg/l)	検出されないこと (<0.0005mg/l)	年 1 回		
		ダイオキシン類	0.060pg-TEQ/l	1pg-TEQ/l 以下		年 1 回	
	土壌	PCB(溶出試験)	不検出(<0.0005mg/l)	検出されないこと (<0.0005mg/l)	年 1 回		
		ダイオキシン類	0.79pg-TEQ/g-dry	1000pg-TEQ/g-dry 以下		年 1 回	
底質	PCB (溶出試験)	不検出(<0.0005mg/l)	—	年 1 回			
	(成分試験)	不検出(<0.05mg/kg-dry)	10mg/kg-dry 未満		年 1 回		
	ダイオキシン類	4.1pg-TEQ/g-dry	150pg-TEQ/g-dry 以下				
生物*5	PCB	15000pg /g-wet	—	年 1 回			
	ダイオキシン類	0.67pg-TEQ/g-wet	—				

(注) *1 : 工業専用地域であるため、大気に係る環境基準は適用されない。

*2 : 現況、予測値は生活環境影響調査(平成 19 年 3 月)の値で、予測値は最大着地濃度地点における値

*3 : 生活環境影響調査結果から当社が環境保全目標値として定めた値

*4 : ベンゼン協定値超過による施設停止のため、計画回数を実施していない項目がある。

*5 : カメノテ

○豊田 PCB 処理事業所（平成 28 年 4 月～平成 28 年 10 月末現在）

要素	調査項目	結果（※）	環境基準値等 （参考）
大気	PCB	0.0039 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	年平均 0.5 $\mu\text{g}/\text{m}^3$
	ダイオキシン類	0.020pg-TEQ/ m^3	年平均 0.6pg-TEQ/ m^3
	ベンゼン	0.0017mg/ m^3	年平均 0.003mg/ m^3
土壌	PCB	不検出(<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)
	ダイオキシン類	0.96pg-TEQ/g	1,000pg-TEQ/g
地下水	PCB	不検出(<0.0005mg/L)	検出されないこと (<0.0005mg/L)
	ダイオキシン類	0.046pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L

※大気については、年平均を表示。土壌と地下水については、最大値を表示。

○東京 PCB 処理事業所（測定期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）

要素	調査項目	結果（期間中の最大値）	環境基準（*1） （参考）	測定頻度 （モニタリング計画書）
大気 （敷地境界）	PCB	南東端 0.00005mg/ m^3 未満 北西端 0.00005mg/ m^3 未満	0.0005mg/ m^3	年 1 回*2
		ダイオキシン類	南東端 0.14pg-TEQ/ m^3 北西端 0.17pg-TEQ/ m^3	年平均 0.6 以下 0.077pg-TEQ/ m^3

*1 PCB の環境基準：環境庁大気保全局長通達(昭和 47 年環大気 141 号)

*2 環境保全協定書における測定頻度は年 1 回。現在自主測定として 4 回実施している。

○大阪 PCB 処理事業所（測定期間：平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月）

	項目	単位	事業所敷地内	事業所周辺*	環境基準値等 （参考）
春	PCB	mg/ m^3	0.00000054	0.00000037	0.0005
	ダイオキシン類	pg-TEQ/ m^3	0.015	0.010	0.6
	ベンゼン	mg/ m^3N	0.00072	0.00068	0.003
夏	PCB	mg/ m^3	0.00000041	0.00000040	0.0005
	ダイオキシン類	pg-TEQ/ m^3	0.018	0.024	0.6
	ベンゼン	mg/ m^3N	0.0010	0.00095	0.003
秋	PCB	mg/ m^3	0.00000044	0.00000034	0.0005
	ダイオキシン類	pg-TEQ/ m^3	0.015	0.013	0.6
	ベンゼン	mg/ m^3N	0.00068	0.00066	0.003
冬	PCB	mg/ m^3	0.00000016	0.00000012	0.0005
	ダイオキシン類	pg-TEQ/ m^3	0.014	0.013	0.6
	ベンゼン	mg/ m^3N	0.0010	0.0010	0.003
平均	PCB	mg/ m^3	0.00000039	0.00000030	0.0005
	ダイオキシン類	pg-TEQ/ m^3	0.0155	0.0150	0.6
	ベンゼン	mg/ m^3N	0.00133	0.00082	0.003

*：事業所南側に位置する大阪ガス研究所敷地内。

○北海道 PCB 処理事業所 (JESCO 実施分・平成 28 年 4 月～平成 29 年 2 月)

要素	調査項目	結果 (最大値等)	環境基準値等 (参考)	測定頻度
大 気	PCB	敷地境界東側南端 260 pg/m ³	500,000pg/m ³	年 4 回
		処理情報センター 340 pg/m ³		
	ダイオキシン類	敷地境界東側南端 0.0090pg-TEQ/m ³ N	0.6pg-TEQ/m ³ N	
		処理情報センター 0.020pg-TEQ/m ³ N		
	ベンゼン	敷地境界東側南端 2.1μg/m ³	3μg/m ³	
		処理情報センター 1.2μg/m ³		
水 質	PCB	雨水幹線排水路合流前 1,000pg/ℓ	500,000pg/ ℓ	年 6 回
	ダイオキシン類	雨水幹線排水路合流前 0.072pg -TEQ/ℓ	1pg-TEQ/ℓ	
底 質	PCB	雨水幹線排水路上流 14,000pg/g	10,000,000pg/g	年 1 回
		雨水幹線排水路下流 21,000pg/g		
	ダイオキシン類	雨水幹線排水路上流 3.6pg-TEQ/g	150pg-TEQ/g 以下	
		雨水幹線排水路下流 3.6pg-TEQ/g		